

こんなことが決まりました

令和元年 第3回定例会
9月3日～17日

【認 定】3件

- 平成30年度留萌市各会計歳入歳出決算
- 平成30年度留萌市水道事業会計決算
- 平成30年度留萌市病院事業会計決算

..... 認 定

【報 告】4件

- 平成30年度留萌市の健全化判断比率の報告
- 平成30年度留萌市の資金不足比率の報告

ほか2件 了

【議 案】11件

- 令和元年度留萌市一般会計補正予算（第3号）について
- 留萌市体育施設条例の一部を改正する条例制定について
- 令和元年度留萌市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）について
- 令和元年度留萌市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）について
- 留萌市市税条例一部を改正する条例制定について
- 留萌市水道事業給水条例の一部を改正する条例制定について
- 財産の取得について（職員端末機器ノート型PC 89台）
- 財産の取得について（職員端末機器 ディスプレー一体型PC 140台）
- 財産の取得について（職員端末機器 ディスプレー一体型PC 145台）
- 財産の取得について（蒸気式攪拌装置付全自動煮炊釜 3台）
- 留萌市公平委員会委員の選任について

..... 原案可決
..... 適 任

【意見書案】3件

- 高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書
- 水産業の体質強化を求める意見書
- 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

..... 原案可決

【陳 情】1件

- 幼児教育・保育の無償化に伴う食材料費（副食費）の取り扱いについての陳情 第2常任委員会へ付託

議会運営委員会

議会運営委員会では、議会ICTの推進および議会モニター制度の課題を探ることを目的に、議会改革調査5年連続全国1位の十勝管内芽室町議会を8月7日に視察しました。

タブレット導入による効果は、大量の紙資料を持ち運ぶことなく、タブレット1台に集約し、住民の問い合わせに即座に対応できることから、行政と住民との橋渡しがスムーズになり、政策立案に大きく貢献していると言えます。また、災害時における被災状況を瞬時に共有できるなどの利点があります。

議会モニター制度導入により、住民からの要望、提言など広く意見を聴取し、政策提案機能を強化できることや、議員のなり手不足の解消につながっているなどの効果があります。また、議会モニター制度を始めるためには、全会議のインターネット中継の配信、資料や会議録を公開



▲8月の芽室町議会視察風景

また、議会モニター制度については、引き続き調査研究する必要があると考えます。

また、議会ICT導入に向けた議論は、平成29年10月に実施された、行政視察から調査研究が始まりました。当委員会では今回の視察を機に、タブレット導入が、開かれた議会の実現に向けた「情報公開」と「市民参加」の機会を拡充するために必要であると結論付け、年度内の整備を望むものと致しました。

議会です こんにちは

留萌市議会だより

第134号

令和元年11月1日発行

●留萌市議会事務局

TEL42-1907 FAX43-6700

URL : <http://www.e-rumoi.jp/gikai/index.html>

E-mail : rumoishigikai@basil.ocn.ne.jp

留萌市議会

検索



※左記のQRコードからも
留萌市議会のホームページにアクセスできます。

主な内容

- P10 ・市民と議会の意見交換会参加者募集！
- P11 ・こんなことが決まりました ほか
- P12 ・決算審査特別委員会からの報告
- P13～P15 ・第3回定例会一般質問項目
- P16 ・第1・第2常任委員会からの報告
- P17 ・各組合議会からの報告 ほか

市民にわかりやすく、開かれた議会を目指して！

市民と議会の 意見交換会

参加者募集！

第1部 議会報告

- 第1および第2常任委員会
- 決算審査特別委員会

第2部 意見交換会

※テーマに沿って意見交換を行います

- 【テーマ】①道の駅
- ②子育て支援

臨時託児所を 開設します。

参加申込時に
お知らせください。



とき 令和元年 11月20日 水

18:30～20:00 〈18:00 受付〉

ところ るしんふれ愛パーク管理棟

留萌市船場町2丁目114

対象 留萌市にお住まいの方

応募方法

参加希望者は、電話または名前・電話番号・性別・年齢をご記入の上、FAX・E-mailで、上記の「留萌市議会事務局」へお申し込みください。

応募締め切りは
11月13日 水

各常任委員会 議事録を公開

委員会でどのようなことが審議されているか、参考にしてください。議事録は次の場所でご覧いただけます。

- ▼市役所1階市政情報コーナー▼
- 図書館▼市内各コミュニティセンター▼
- 留萌市議会ホームページ内会議録検索システム

留萌市議会では、専門的に調査を行い、議案、陳情などを審議するために常任委員会を設置しています。今年度からは、市民と一層の情報共有を図るため、第1常任委員会と第2常任委員会の議事録を公開しています。

9月12日から13日まで決算審査特別委員会を開きました。

決算審査特別委員会からの報告（一部抜粋）

【総務費】

Q市長と市民のフリートーク、昨年実績10人から66人と増えている。成果の要因は。

A開催日を曜日指定ではなく、希望に応じて随時開催したことで成果が出た。

Q平成30年度の学芸員の採用はゼロだったが、どのような観点で採用を考えているか。

A学力と学芸員としての資質と能力などで判断している。今年度も募集し、1人内定を出している。

Q地域おこし協力隊の実情と課題はあるか。

A30年度、現役2人、途中退任2人。1人は、幌糠で起業する。全国的に職種のミスマッチによる途中退任が課題となっている。

【民生費】

Q特定教育施設運営事業で市内の幼稚園での一時預かり保育事業の人数と課題は。

A待機児童が発生したことから、3～5歳児の受け入れを要請し、30人を受け入れた。幼児教育の無償化に伴い、来年度から市の負担が4分の1発生することから財政に与える影響がある。

Q病児保育の利用者が少ないが要因は。

A年度途中の開設であったため、利用者が2人とどまった。市内保育園や幼稚園などに、プリントを配り周知している。

Q児童福祉施設費の不用額が多くなった要因は何か。

A保育施設運営事業の保育実施費負担金で予算では290人ほどの入所を見込んでいたが、実際に入所してきた人数が278人だったので、不用額が発生した。

【衛生費】

Q合同墓が設置されたが、その運用状況、課題は。

A3月中には事前申し込みはなく、4月から運用し、38件、約90体が納められた。市内外でこれまで自宅などで保管していた遺骨を納められる方が多い。



▲運用が始まっている合同墓

Q地域健康づくり関連人材育成事業はどのように継続されているのか。

A医療クラークの養成は続いており、スキルアップを図っている。

Q目のコホート研究事業が終了したが、今後も研究事業を取り入れていくのか。

A市民1,700人に協力いただいた。今後の研究事業も、市民の皆さんに役立っていくものに限定して行いたい。

【労働費】

Q地元人材育成事業の成果は。

A高校生が「かずもちゃん焼き」の金型を作り、イベントなどで販売活動を行った。



▲かずもちゃん焼きを販売する留萌高校の生徒

【農林水産費】

Qナマコ資源管理技術開発試験事業の効果について。

A今後資源保護を継続可能に実施するため、増殖事業で放流技術の推進を図る。

Qタルマップダム改修工事の内容について。

Aダム法面の一部が崩落したため、北海道が実施した工事の一部を負担。工事期間は令和4年度まで。

【商工費】

Q消費生活相談の件数減の理由は。

A販売や契約、解約の相談が減少したことによる。

Q海岸漂着物の処理基準が必要ではないか。

A漂流場所により国や北海道、市などの管理者が処理を行うため、基準の作成は難しい。

【土木費】

Q河川維持工事施工箇所は、地元要望でなく市で決定しているのか。

A豪雨があり、倒木の処理を行った。地先農家の要請もあった。

【教育費】

Qソーシャルワーカーの活動は。

A学校や日常生活などの困難に対し、子どもや家庭、地域に働きかけ、問題解決にあたっている。人材確保が課題。

Q子どもの体力アップ推進事業（COT）の取組について何う。

A各小学校で取り組み、体育の授業で行っている。体力測定の結果がアップしてきた。成果や課題を検証していく。

Q英語指導助手（ALT）を増員した効果について何う。

A2人になり、小学校に多くの時間入ることができ、外国語の発音にふれる機会が増えた。

令和元年第3回定例会

一般質問と答弁



むらかみ ひとし
村上 均
留萌公明党

【質問】「旧留萌く増毛間」の活用について

観光資源としての「旧留萌く増毛間」の線路跡地の取得活用と合せて調査結果について伺いたい。

【答弁】鉄道敷地内の施設および付帯する5メートル以上の橋梁の撤去費用算出、譲渡を受ける際の安全性確認を行うため調査を昨年12月に完了した。JR北海道に提示し、資産譲渡に向けた課題などを協議中。今後の活用方策は、譲渡箇所の安全対策など、JRと十分な協議を行った上で検討していきたい。



▲「旧留萌～増毛間」JR線路跡地の活用は

【質問】公共施設の今後について

今後の整備の方向性、廃校校舎・解体校舎の跡地活用をどう考えている。また、旧留萌高校校舎を市役所庁舎などに活用する考えはないか。

【答弁】市民の利用度が高く、財政負担の軽減が期待できる社会教育施設の整備を市庁舎より優先し、官民で協議の上検討する。旧留萌高校を市庁舎として使う可能性がないわけではないが、違う形で活用することがあれば検討する。

【質問】災害時の福祉避難所について

近年、巨大地震や大津波、記録的な大雨による災害が全国的に発生している。障がい者や要介護者に配慮した福祉避難所の設置状況や今後の避難所拡大について伺いたい。

【答弁】平成31年3月29日に社会福祉法人萌寿会と「留萌市と萌寿会との福祉避難所の指定に関する協定」を締結し、留萌市で初めてとなる福祉避難所の指定を行った。今後も、要介護者の受け入れが可能な設備を有する社会福祉施設と協定締結を行い、市内の福祉避難所の指定拡大に努める。



▲災害時に備えた市民防災訓練

【質問】医師確保について

留萌市立病院は地域医療の大変重要な医療機関である。医師確保についてどのような取組を行っているのか伺いたい。

【答弁】毎年、大学医局を訪問し、常勤医師の派遣をお願いしている。また、市全体で医学生の実習を受け入れており、今後も地域医療を守り抜いている実態を国や北海道に訴えていく。



むらやま ゆかり
村山ゆかり
萌芽クラブ

【質問】公共施設整備と市の財政状況

平成30年度決算を終え、新たな公共施設整備などで財政の変化を聞きたい。道の駅整備で、子どもの屋内遊戯施設は、いつごろ、建設されるのか。文化センターなどの社会教育施設の想定される建設時期を伺いたい。

【答弁】財政調整基金からの繰り入れにより基金残高が減り、厳しい状況にある。



▲今後の方向性が問われるJR留萌本線車両風景

【質問】JR留萌線とまちづくり

JR留萌本線の方向性について市長の見解を伺いたい。

る。公債費の適正な水準を維持し、既存施設の集約化などを行い、しっかりと議論して整備を進めたい。屋内遊戯施設は、るしんふれ愛パーク管理棟に並列する形で、令和3年度には建設工事を着手できるよう財政状況を踏まえて進めたい。



うしろ ゆきこ
鵜城 雪子
無党派

【質問】待機児童発生の要因と対策

国は待機児童解消に向け、さまざまな整備を行っている。留萌市は、保育実施法とどのように保育の供給体制

について取り組んで来たのか。
また、待機児童の解消に向け、保育
コンシェルジュの導入を考えて頂き
たいが市長の考えは。



▲保育園、年長組「けんぱんハーモニカ」の時間

【答弁】体制強化や組織体制、職員の条件整備など含めて、今までも加配問題やさまざまに手当てしてきた。待機児童が2年前から起きる事は想定していなかった。国に準じた措置はしてきている。萌幼会という法人の方向性が見出せないとしは一步進めない。今後3館の運営ができないとなると、市としては早急に市立の保育園なり幼稚園の可能性を探らないといけない。
現状として、3保育施設で定数自体に余裕がある状況を見ると、保育園から相談して頂かないと前に進めない状況にあると思うている。
コンシェルジュの対応については、もう少し勉強したい。

かさはら まさふみ
笠原 昌史
民 主

【質問】外国人の定住促進に向けた支援策の必要性について
外国人の定住を促し、まちづくりに参加してもらうための施策と支援する意思はあるか。

【答弁】定住促進には、安心して訪れることができる環境や受け入れ体制づくりが重要。他自治体の取り組みなどを参考にしながら研究していきたい。

【質問】海のふるさと館の館内設備の修繕・更新について
海のふるさと館には長い期間「故障中・使用中」となっている体験型機器が多数ある。修繕・更新の責務はどこにあるか。来シーズンに合わせた修繕・更新を行う意思はあるか。



▲長く使用できない状況が続く海のふるさと館の体験型機器

【答弁】体験型機器の修繕。更新は軽微なものは指定管理者。規模が大きいのものは市が対応しているが、旧型で修繕

が難しいものなどすぐに対応できないものもある。修繕できないものは撤去を含め、市教育委員会と協議をしながら検討していきたい。

とみず みほこ
戸水美保子
留萌公明党

【質問】認知症対策について
認知症は誰もがかかりうる病気、2025年には、高齢者の5人に1人が認知症にかかるという予測も出ている。留萌市では現在、予防のための取り組みや認知症の方を支えるサポーター養成講習などが多く行われている。

地域社会が温かく支えることの大切さは理解した上で、GPSを利用した見守りや認知症と診断された方が事故で賠償責任を負った際、損害賠償保険の加入などで本人や家族を救済する制度を創設する考えはないか。



▲かかと部分にGPSを搭載した靴

【答弁】認知症の方やその家族の支援に

役立つ商品などに関し、情報提供を行いながら、認知症に関する正しい知識の普及啓発を進め、地域全体で認知症の人とその家族を支える体制を整備していく。個人賠償責任保険については、先進地の事例を参考にしながら、本人家族を支える仕組みについて研究していく。

かいとう よしのり
海東 剛哲
萌芽クラブ

【質問】旧留萌高校校舎の将来像
旧校舎の今後について、北海道と取得に向けた話だけではなく、利活用や解体なども含む土地の在り方について、どのような話し合いが行われているのか。

総合戦略に向けた新たな産業の創出・やりがいのある場づくりには有効な拠点となりうる可能性があると思う。官民協働による利活用の検討・協議をする場の必要性についてお聞きする。



▲旧留萌高校敷地

【答弁】留萌中学校としての活用を検討したが、譲渡価格や改修経費・埋設物などの課題があり、利活用は難しいと判断した。北海道教育委員会へは利用しない旨の回答をしている。用途変更による改修や長寿命化に向けた活用に伴う維持についても、財政状況を考えると現段階では難しい。協議の場の必要性については、今はないが、市民の中から利活用について声が上がれば、市としても協議を考えなければならぬ。行政の支援なども視野に入れてもらい、どのような活用策が市民から出るか注視していく。

よこた みき
横田 美樹
萌 政 会

【質問】森林資源の利活用について
安定した財源確保を目指すに当たり、基盤となる一次産業である林業の取組みと間伐材の製品化、ブランド化について、また、林業従事者問題と森林環境譲与税についてお聞きする。

【答弁】研究機関の指導を得ながら、地域材のブランド化の可能性を探る。
北海道と連携を図り林業従事者の確保に努め、機械化（AI化）も検討していきたい。森林環境譲与税の目的使途として、公共施設などへの地域材の積極的な使用や市民に還元できるような持続可能な森林整備を実施し、地域林業の活性化を目指す。



▲地域材を利用した留萌小学校のフローリング

【質問】コンパクトシティへの取り組みについて
公共施設の点在による移動の困難と避難所施設の老朽化を踏まえた公共施設の集約化とコンパクトシティネットワークについてお聞きする。

【答弁】公共施設劣化度調査により、避難所施設の統廃合も視野に入れて検討していく。また、地域特性に合ったコンパクトなまちづくりを目指していく。

こぬま きよみ
小沼 清美
無 会 派

【質問】幼児教育無償化について
「幼児教育無償化」により、これまで保育料に含まれていた副食費が実費徴収となる。給食が義務づけられている保育園では、保育の一環であり、徴収に係わる業務が保育園の新たな負担になる。保育士不足の観点からも副食費を市で負担し、完全に無償化にする

【答弁】給食費は、就学援助の対象者が無償となっているため、完全無償化は考えていない。テストも今までどおり保護者負担を願いたい。



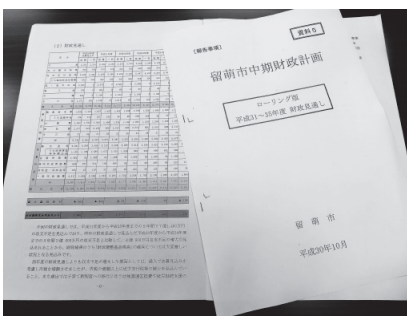
▲ある日の給食

【答弁】財政難のため、市で副食費を負担するのは難しい。今回の無償化に伴う課題については、萌幼会と協議しながら進めたい。

【質問】学校教育の保護者負担の軽減について
保護者が年間に負担する額の中で大きな割合を占める給食費だが、子どもの貧困対策のための有効な支援でもある給食費の無償化と、評価に使うテストの費用を補助する考えはないか。

のざき よしお
野崎 良夫
無 会 派

【質問】中西市政と持続可能な街づくりについて
一、昨春の選挙戦において、市民の前



▲留萌市中期財政計画

に明らかにした「公約」の実施に対しどのように取り組んでいくのか。
二、財政運営は、財政規律の基「留萌市中中期財政計画」により、行っているが今後の見通しは。
三、首長の役割は、政治的リーダーとして「持続可能な街づくり」に向けてスタンスを明確に示すことも必要と思うが。

【答弁】一、待機児童の解消などの緊急課題に対しては、スピード感を持って対応し、市の財政状況を踏まえながら、優先順位を付けて施策を選択する。
二、市の財政は、一般行政経費が増え、病院事業会計などへの繰出金の増加が見込まれることから、引き続き、厳しい財政運営が続くことが想定される。三、将来に向けたビジョンを市民と共有し、共に未来を想像しながら、まちづくりを展望していく必要がある。地域のリーダーとして、頑張っていく。

令和元年度 留萌市議会議員出席状況（5月1日～9月30日）

※(公)は公の要件による欠席 ※(病)は入院などによる欠席 ※(監)は監査による欠席 ※(一)は出席対象外の会議 ※委員会は開催状況によって出席回数が異なる	議 員 名	①横 田 美 樹	②小 沼 清 美	③海 東 剛 哲	④芳 賀 博 康	⑤燕 昌 克	⑥珍 田 亮 子	⑦米 倉 靖 夫	⑧戸 水 美 保 子	⑨小 野 敏 雄	⑩笠 原 昌 史	⑪鵜 城 雪 子	⑫村 上 均	⑬村 山 ゆ かり	⑭野 崎 良 夫
	委 員 会 名 等	出 席 日 数													
	定 例 会（開 会 日）	8	8	8	8	8	8	7	8	8	8	8	8	8	8
	臨 時 会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	特別委員会（予算審議）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	特別委員会（決算審議）	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	議 会 運 営 委 員 会	10	—	—	—	10	10	—	—	9	10	—	10	10	—
	第 1 常 任 委 員 会	6	6	—	—	—	6	6	6	—	6	—	—	6	5
	第 2 常 任 委 員 会	6	—	6	5	6	6	—	—	5	—	6	6	—	—
	議会広報広聴常任委員会	5	5	5	5	5	—	5	—	5	—	—	—	5	—
	全 員 協 議 会	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2	1

編集後記

9月だというのに扇風機をかけながらの暑い議会だった。気温もさることながら、10人の一般質問という熱気ムンムンの議会。4月に有権者の熱い思いを受けて当選した新人議員も、先輩議員に教えてもらいながら、堂々と全員が質問。

しかし、この議会だよりに掲載できるのはほんの一部。個性豊かな議員たちの訴えを傍聴やYouTube、その日の夜にあるFMもえるの放送、ホームページの音声…いろいろな方法で見たり聴いたりしてほしい。

そして11月20日（水）に開催される「市民と議会の意見交換会」にはたくさんの市民に足を運んでほしい。（清）

各組合議会からの報告

留萌消防組合議会

令和元年留萌消防組合議会第2回臨時会を7月9日開催し、「令和元年度留萌消防組合補正予算（第1号）」、「留萌消防組合手数料の一部を改正する条例制定について」の2件を審議し、可決しました。また、7月7日に令和元年度留萌消防団教養訓練大会に出席し、消防団員42人による訓練礼式と放水訓練を見学しました。



留萌南部衛生組合議会

令和元年第4回協議会を10月1日に開催しました。主な案件は、留萌南部衛生組合所管施設の現状を確認するための視察です。最終処分施設では、浸出水の処理状況の説明を受け、可燃・不燃ごみ埋立地の現状、有害鳥獣焼却施設では焼却炉の状況、生ごみ処理施設の現状、資源化施設では各種資源ごみの選別作業状況を確認しました。



第1常任委員会

8月22日の常任委員会は、9月の第3回定例会に向けた議案事項として、平成30年度決算として健全化比率と資金不足比率などが示されました。また、令和元年度一般会計補正予算について説明を受けました。

現在使用している職員端末「Windows7」が来年1月にサポート終了するため、端末機器の更新に伴い、取得予定金額が7616万8180円であることが示されました。

【地域おこし協力隊企業支援】地域振興部から説明があり、地域おこし協力隊企業支援として、今年7月末で地域おこし協力隊を卒業した相川春生さんが、幌糠地区を拠点に農村カフェの開業や高付加価値作物農作業の委託、映像制作など業務内容で起業する予定であることについての情報提供がありました。

留萌市では、留萌市地域おこし協力隊起業支援補助金により、



▲農村カフェを開業した相川さん

カフェ開設に係る設備や改装費など起業に係る初期費用を一部支援することも報告されました。【留萌市空家等対策計画策定】都市環境部から「空家等対策の推進に関する特別措置法」制定（平成26年）を受け、個別に空家などの状況を把握することが可能な立場にある市町村が実施主体と位置付けられたことにより「留萌市空家等対策計画（案）」が示されました。今後、パブリックコメントを実施し、今年12月中に完成させて公表する予定であることが報告されました。

第2常任委員会

第2常任委員会は、7月5日に「留萌市学校給食センター」「留萌市立病院」を視察しました。給食センターでは、実際に調理中の様子を見学。配送や職員体制、給食数、献立、衛生管理などの説明を受けました。おいしく栄養のある給食が、子どもたちに提供されている現場を確認しました。

市立病院では、病児保育室と院内保育所を見て回りました。病児保育とは、病中または病気の回復期にあるお子さんを就労などのため、家庭で保育できない保護者にかわり一時的に保育すること。今年2月に東雲診療所1階奥に保育室が開設されました。また、市立病院に勤務する医療従事者の子どもを他の保育施設に入所する前に2才児まで保育することができるよう院内保育所を見て回りました。さらに、5階の休床施設など病院内における施設の現場を実際に見



▲2歳児までの市立病院院内保育

ることで、多くの情報が得られ、現状と課題が見えてきました。【陳情を審査】第3回定例会本会で、第2常任委員会に付託された「幼児教育・保育の無償化に伴う食料料費（副食費）の取り扱いについて」の陳情について、9月17日の常任委員会で審議方法を議論しました。今後、担当課に具体的な資料などを求め、陳情者の願意を確認し、12月定例会で委員会審査報告書を提出する予定となっています。